
ラーとオベリスクと私

吉岡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラーとオベリスクと私

【Nコード】

N4997Z

【作者名】

吉岡

【あらすじ】

オシリスの天空竜発売記念。オシリスが主人公の話です。オシリス&遊戯王大好きな人なら怒るかも

(前書き)

原案は友人からいただきました。

ここはとある村。人里離れたカードの精霊が住むこの村の中央に存在する決闘場では今日も村人達が楽しく決闘デュエルをしていた。

しかし、平和は長くは続かなかった……

突如、紅き竜が村に舞い降りた。

「へえ、ここが噂の決闘場か。案外しょぼいんだね」

二つの口を持つその竜は、上の口から雷撃を打ち出す。なす術も無く村人は焼かれていった。

「なんだい、あたしの上の口で死んじまうなんて大したことないね。さて、こんなつまらないところさつさと出ていくか」

「おっと、待ちなよねーちゃん。あんただろ、俺の決闘場を荒らしてくれたのは。まさかこのまま帰るなんてわけじゃないよな？」

それはこの村一番の実力者、ラーの翼神竜であった。

「ラーだ…ラーの翼神竜だ！」

「キヤー！ラーの翼神竜よ！」

生き残っていた村人達が一目散に逃げていく。

「へえ、あんた相当強いみたいだね、これでもくらいいな！」

再び上の口から吐き出される雷撃。しかし、ラーはびくともしなかつた。

「へっ、こいつがあんたの攻撃か。体がビリビリしやがる。だがしかし、まるで全然、この俺を倒すには程遠いんだよね！」

ラーの咆哮とともに空気が揺れはじめ。ラーは黄金になった。「どうだ、こいつが俺の能力だ！この力に勝てる奴はどこにもいない！」

「ふん、その程度があなたの全力？悪いけど私の勝ちね。魔法カード、強欲で謙虚な壺を発動！古代の魔道書の力を束ねし私の力は無

敵よ！」

今まで使われていなかった、下の口がにわか動き始める。

「くらいなさい、私の力を！サンダー・フォース！！」

先程までの雷撃とは一回りも二回りも大きさの雷撃　サンダーフォースがラーの体を貫く。

「ぐわああああ」

「はあはあ……ふう。さすがに下の口を使うのは疲れるわね。まあ良い収穫だったってこと」

「ほう、何やら騒々しいと思ったら……ラーを倒すものがまさかこんな小娘とはな」

突如、大空から声が響き渡る。青白い幻影は巨大な怪物となり、実体化した。

「あら、あなたは？」

「我の名はオベリスク。この決闘場の守り神じゃ。ふうん、我には見えるぞ、貴様の醜く太った……心の闇がな」

「心の闇？なによそれ、勝手に言っとなさい。どうせあんたもあたしの攻撃力には勝てな」

「畏カード、マインドクラッシュ発動！ふふふふ、見える、我には見えるぞ、強欲で謙虚な仮面の裏に隠された貴様の心の闇……貪欲な顔がな」

「なっっ！！？」パリーン

「それがお前の、心の闇か。淫乱な顔をしよって。まあいい。魔道書を失いし貴様なぞ、赤子をひねるも同然。見るが良い、我の巨チンを」

（なっなんて大きさなの！？）

「くっ、そんな汚いものを私に見せないで！！」

「相変わらず減らず口なやつだ。まあいい。まずはその下の口から壊してやるっ、くっくっくっく……」

「い、いやああああ……！！」

完

(後書き)

「????」もうすぐ…もうすぐここに三体の神が眠るそのときこそ私の復活のときだ。ふっはっはははは……」

次回 ホルアクティの野望 乞うご期待！

いや、続かないですけど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4997z/>

ラーとオベリスクと私

2011年12月17日00時58分発行